

5 . 遠賀川の川づくり

5 . 1 住民参加と地域との連携による川づくり

遠賀川を常に安全で適切に利用・管理する気運を高め、より良い河川環境を地域ぐるみで積極的に形成することを目的に、河川管理者として収集した情報や河川利用に関する情報等を掲載したポスター、パンフレット、副読本等を作成するとともにインターネット等により幅広く情報提供を行い、情報の共有化を行います。

特に、遠賀川の河川清掃やイベント等の地域住民の自主的な活動に対しては、安全に多数の地域住民が参加できるよう、活動に必要な河川情報を積極的に提供する等の支援を行います。

これらにより、地域住民が遠賀川に関わる機会を設け、日常の維持管理(川の365日)においては、従来の河川管理者だけが行ってきた河川管理から、「遠賀川は地域みんなのもの」であるとの認識に立った地域住民との協力・分担による河川管理への転換を推進していきます。

また、森林は山から海に至るまで、健全な水循環を確保する上で大きな役割を果たしており、森林が良好な状態にあることは重要なことです。そのため、森林保全に取り組む福岡県や関係市町村などの行政機関やボランティア団体等が行う活動に協力するなど、連携に努めます。

5 . 2 地域住民の関心を高めるための広報活動

河川の特長や地域の風土・文化を踏まえ、筑豊の母なる川として「遠賀川らしさ」を生かした河川整備を進めるため、ホームページ、ケーブルテレビ、新聞などの報道機関や地域の広報誌を利用して広く川の情報を提供し、地域住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど、福岡県や関係市町村などの行政機関や地域住民との対話を推進していきます。

さらに、水生生物調査など自然体験活動等の機会を通じて身近な自然である遠賀川に親しみ、将来を担う子どもたちへの環境学習を積極的に支援するとともに、各種の住民団体との意見交換を行うなど、広く地域住民に遠賀川に対する関心を高めるための活動を行います。